



長南町ソーラーアートバルーン プロジェクト 2017



8月20日、長南町農村環境改善センターで「長南町ソーラーアートバルーンプロジェクト2017」が開催されました。東京家政大学と本町の小学生が交流することにより、相互の理解と親睦を深め、また、本町出身で東京家政大学の創始者である渡邊辰五郎氏を縁とする、今後の更なる交流の継続を期することを目的とした本事業。この日、参加した長南小学校の3年生と、東京家政大学の学生たちは、黒色のビニール袋等を使い、約5時間かけて全長約20mのクジラバルーンを作りました。浮き上がったバルーンを見た子どもたちは、所々で歓声の嵐。夏休みの良い思い出になったと有意義な1日を過ごしました。

また、この日はバルーン作りだけでなく、お昼にピザ焼きの昼食交流活動が行われました。地域のボランティアの皆さんが作ったピザを頬張りながら、笑顔で談笑する学生と子どもたち。長南産の食材の旨味に舌鼓を打ちました。

今後も様々な展開が期待される、東京家政大学との交流事業。また次回の開催が待たれます。

